

各 位

2022年1月27日  
株式会社リットーミュージック

話題作『レディ・イン・ザ・バルコニー』から懐かしの『アンプラグド』まで、クラプトンのアコギ・サイドに迫った『アコースティック・ギター・マガジン Vol.91』が発売。



インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）は、『アコースティック・ギター・マガジン Vol.91 2022年3月号』を、2022年1月27日に発売します。

コロナ渦中に生まれたアコースティック名盤として、往年のロック・ファンの中で絶賛されているエリック・クラプトンの最新作『レディ・イン・ザ・バルコニー：ロックダウン・セッションズ』。時代時代でさまざまな顔を見せてきたクラプトンですが、本作は1992年に一世を風靡したMTV『アンプラグド〜アコースティック・クラプトン』に勝るとも劣らない内容で、アコースティック・アンサンブルの頂点に達した円熟のクラプトンを堪能することができます。本誌

では、E.C.のアコースティック・サイドにスポットを当て、最新作で使用している謎の12弦ギターの詳細や彼が愛でてきた思い出深いアコースティック・ギターの解説、そして皆の胸に刻まれているであろう印象的なアコギ名演をたっぷりと紹介していきます。

おまけの歌本“AGM SONG BOOK Vol.5”もクラプトン尽くしの一冊。「ワンダフル・トゥナイト」や「チェンジ・ザ・ワールド」といった代表曲から、最新作でもとりあげられている「ブラック・マジック・ウーマン」や「ノーバディ・ノウズ・ユー」など、全12曲をコード・ダイアグラム&歌詞付きで掲載しています。

そのほか、ブルグラス界に新たな息吹を吹き込む若き技巧派集団＝パンチ・ブラザーズのクリス・シーリ（マンドリン）&クリス・エルドリッジ（ギター）の最新インタビュー、伊勢正三&大久保一久による伝説のフォーク・デュオ“風”の特集、デュアルピックアップ・システムの導入ガイドなど、盛りだくさんの内容となっています。ぜひアコースティック・ギターを片手に楽しんでください。



Special program!

## クラプトンはアコギがお好き。

E.C. in the Acoustic Side

伝説のロック・アコースティック・ギタリストであるEric Claptonのクラプトン最高峰の12弦ギター「1968 Martin D-45」は、そのサウンドと見た目から、クラプトンファンにとって特別な存在である。クラプトンが愛用していたこのギターは、クラプトンが1968年に購入したもので、クラプトンがクラプトンである理由の一つである。クラプトンがクラプトンである理由の一つである。クラプトンがクラプトンである理由の一つである。

### ドレッドノート最高峰マーティンD-45

クラプトンが愛用していたこのギターは、クラプトンがクラプトンである理由の一つである。クラプトンがクラプトンである理由の一つである。クラプトンがクラプトンである理由の一つである。

## 1968 MARTIN D-45

### 1966 MARTIN 000-28

クラプトンが愛用していたこのギターは、クラプトンがクラプトンである理由の一つである。クラプトンがクラプトンである理由の一つである。クラプトンがクラプトンである理由の一つである。

## 1966 MARTIN 000-28

改造された000-28/45 CONVERSION

## 000-28EC & 000-42EC

クラプトンが愛用していたこのギターは、クラプトンがクラプトンである理由の一つである。クラプトンがクラプトンである理由の一つである。クラプトンがクラプトンである理由の一つである。

クラプトンが愛用していたこのギターは、クラプトンがクラプトンである理由の一つである。クラプトンがクラプトンである理由の一つである。クラプトンがクラプトンである理由の一つである。

## EC流アコギ奏法

クラプトンが愛用していたこのギターは、クラプトンがクラプトンである理由の一つである。クラプトンがクラプトンである理由の一つである。クラプトンがクラプトンである理由の一つである。

クラプトンが愛用していたこのギターは、クラプトンがクラプトンである理由の一つである。クラプトンがクラプトンである理由の一つである。クラプトンがクラプトンである理由の一つである。

## アコギ・クラプトンの常套句

クラプトンが愛用していたこのギターは、クラプトンがクラプトンである理由の一つである。クラプトンがクラプトンである理由の一つである。クラプトンがクラプトンである理由の一つである。

クラプトンが愛用していたこのギターは、クラプトンがクラプトンである理由の一つである。クラプトンがクラプトンである理由の一つである。クラプトンがクラプトンである理由の一つである。

## 2022/03 Winter AGM vol.5 SONG BOOK

クラプトンが愛用していたこのギターは、クラプトンがクラプトンである理由の一つである。クラプトンがクラプトンである理由の一つである。クラプトンがクラプトンである理由の一つである。

クラプトンが愛用していたこのギターは、クラプトンがクラプトンである理由の一つである。クラプトンがクラプトンである理由の一つである。クラプトンがクラプトンである理由の一つである。

## Wonderful Tonight / ワンダフル・トゥナイト

クラプトンが愛用していたこのギターは、クラプトンがクラプトンである理由の一つである。クラプトンがクラプトンである理由の一つである。クラプトンがクラプトンである理由の一つである。

クラプトンが愛用していたこのギターは、クラプトンがクラプトンである理由の一つである。クラプトンがクラプトンである理由の一つである。クラプトンがクラプトンである理由の一つである。

## AGM SONG BOOK Vol.5

クラプトンが愛用していたこのギターは、クラプトンがクラプトンである理由の一つである。クラプトンがクラプトンである理由の一つである。クラプトンがクラプトンである理由の一つである。

クラプトンが愛用していたこのギターは、クラプトンがクラプトンである理由の一つである。クラプトンがクラプトンである理由の一つである。クラプトンがクラプトンである理由の一つである。

## ■書誌情報

書名：アコースティック・ギター・マガジン Vol.91 2022 年 3 月号

定価：本体 2,200 円（税込）

発売：2022 年 1 月 27 日

発行：リットーミュージック

商品情報ページ <https://www.rittor-music.co.jp/magazine/detail/3121112010/>

## CONTENTS

◆表紙：エリック・クラプトン

◆Special Program 1 クラプトンはアコギがお好き E.C. in the Acoustic Side。

- ・最新作『レディ・イン・ザ・バルコニー～ロックダウン・セッションズ』とクラプトンのアコースティック道
- ・実器写真で見る クラプトンが愛でた思い出のアコースティック・ギター
- ・専属ギターテック Dan Dearnley が語る“自作 12 弦ギターができるまで”
- ・マーティン EC シグネチャー・モデル 000-28EC & 000-42EC コンプリート・ガイド
- ・特盛！思わずコピーしたくなる EC 流アコギ・フレーズ 30 選
- ・コラム：コロナ禍に生まれた知られざるアコースティック名演

◆Special Program 2 風～伊勢正三と大久保一久／あの唄はもう唄わないのですか

- ・伊勢正三インタビュー～風、久保やんを語る
- ・伊勢正三 最新ライブ機材
- ・大久保一久の歩み
- ・大久保一久ディスコグラフィ

◆THE INSTRUMENTS

基本知識のおさらい&導入ガイド

デュアルピックアップ・システム 2022

◆INTERVIEW

- ・パンチブラザーズ（クリス・シーリ & クリス・エルドリッジ）
- ・KOYUKI
- ・川崎鷹也

◆BEST SONGS FOR ACOUSTIC GUITAR（ギター・スコア）

- ・「アフター・ミッドナイト（『Lady in the Balcony』 Ver.）」（エリック・クラプトン）
- ・「海風」（風）

## ◆GEAR

- ・本邦初公開！サンタクルーズのトニー・ライス・モデル2号器
- ・買えるアコギの博物館 Blue-G に行こう！
- ・TAKAMINE GUITARS LTD-2022
- ・革新を続けるテイラー Vol.6 モリシー (Awesome City Club)

## ◆連載

- ・高田渡／高田漣の Folk Days Memories (#4 其処にある物を在るが儘に)
- ・AGM GUITAR GRAPH: 大久保一久のマーティン D-28
- ・にっぽんのギター工房: Boutique Guitar Lounge (西恵介×君島聡)
- ・買えるアコギの博物館 BLUE-G に行こう！
- ・ニュー・ギア・サウンド・チェック
- ・DIY キットでアコースティック・ギターを作ろう
- ・見直してみよう! アコースティック・ギター基本の“キ”  
(Dr.キャピタル、沖仁、高田漣、井草聖二、エバラ健太)

## ◆付録歌本 AGM SONG BOOK Vol.5 (電子版に付属しません)

エリック・クラプトンの名曲&カバー集 (全12曲)

大ヒット・ソングから懐かしの『アンプラグド』、  
そして最新作『レディ・イン・ザ・バルコニー』まで  
クラプトン・ソングをアコギで歌おう！

(収録曲)

Guitar Score

- ・「San Francisco Bay Blues」 (Unplugged)
- ・「Alberta」 (Unplugged)

Chord Score

- ・「Wonderful Tonight」 (Slowhand)
- ・「Change The World」 (Single)
- ・「Cocaine」 (Slowhand)
- ・「I Shot The Sheriff」 (461 Ocean Boulevard)
- ・「Running On Faith」 (Unplugged)
- ・「Nobody Knows You When You're Down And Out」 (Unplugged)
- ・「Key To The Highway」 (Lady In The Balcony)
- ・「Black Magic Woman」 (Lady In The Balcony)

- ・ 「Man Of The World」 (Lady In The Balcony)
- ・ 「Please Be With Me」 (461 Ocean Boulevard)

【株式会社リットーミュージック】 <https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド&レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー&クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。新しく誕生した多目的スペース「御茶ノ水 Rittor Base」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やエンタメ情報サイト『耳マン』、Tシャツのオンデマンド販売サイト『TOD』等のWebサービスも人気です。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証1部9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

---

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当 原見

Tel: 03-6837-4704 / E-mail: [pr@rittor-music.co.jp](mailto:pr@rittor-music.co.jp)